



2022年11月10日

各 位

会 社 名 ローランド ディー・ジー・株式会社
代 表 者 名 代表取締役 社長執行役員 田部 耕平
(コード番号 6789 東証プライム)
問 合 せ 先 常務執行役員コーポレート本部長 小川 和宏
(TEL. 053 - 484 - 1400)

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2022年11月10日開催の取締役会において、最近の業績の動向等を踏まえ、2022年8月5日に公表いたしました連結業績予想について、下記のとおり修正することとしましたので、お知らせいたします。

記

1. 2022年12月期通期連結業績予想数値の修正(2022年1月1日～2022年12月31日) (単位:百万円、%)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	51,900	7,600	7,800	5,500	441円34銭
今 回 修 正 予 想 (B)	51,000	6,700	6,800	4,700	377円14銭
増 減 額 (B-A)	△900	△900	△1,000	△800	—
増 減 率 (%)	△1.7	△11.8	△12.8	△14.5	—
(ご参考)前期実績 (2021年12月期)	45,095	6,056	6,082	3,733	299円88銭

2. 修正の理由

本日、第3四半期(累計)連結業績を公表いたしました。為替円安による増収効果が大きい一方、世界的なインフレ、東欧の地政学リスクに伴うエネルギー高騰などの影響により、経済の下振れリスクの警戒感が高まり、先進国を中心に需要の減退が見られました。また、第4四半期(10月～12月)は、引き続き部材価格や海上輸送費などのコスト増加が高止まりで推移する一方、需要面では欧州を中心に前回想定を下回る見込みです。しかしながら、為替の円安効果を織り込んだ結果、第3四半期(7月～9月)の業績を上回る見通しです。

以上を踏まえて業績予想を見直した結果、売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益は前回予想を下回る見込みです。また、予想数値の見直しに伴い通期想定為替レートを、1米ドル=132円、1ユーロ=138円(前回想定1米ドル=127円、1ユーロ=135円)に見直しました。

なお、配当につきましては、2022年2月14日に公表の配当予想(1株当たり期末80円00銭)から変更はありません。

(注)上記に記載した予想数値は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上